

NTT 西日本 / NTT コムウェア

佐賀県庁の電子県庁システムにおける 生体認証システムを構築

NTT西日本とNTTコムウェアは、佐賀県庁の電子県庁システムにおける生体認証システムの構築を共同で行い、9月15日から本格運用を開始した。本システムは、佐賀県が取り扱う個人情報の保護対策を目的として、ネットワーク化された電子県庁システムのセキュリティ対策の充実を図るために、NTTコムウェアが提供するエンタープライズ指紋認証ソリューション「e-UBF」を利用して構築したもので、全職員の端末を対象にした生体認証システムの導入は、全国の都道府県庁で佐賀県庁が初めてである。

これまで佐賀県庁では、職員がネットワーク化された電子県庁システム（電子文書システム、電子申請システムなど）にアクセスする際の本人認証は、ID / パスワード方式で行われていた。そのため、パスワードの忘失や流出の可能性もあり、個人情報の保護を強化するために、よりセキュリティの高い認証方式が求められていた。

今回運用を開始した生体認証システムの特徴は次のとおりである。

指をなぞるだけで簡単に認証されるため、煩雑な認証作業が簡素化・簡便化された。また、パスワードを忘れたり、ICカードを無くした場合などの対応作業も不要。

生体情報の特殊性などが原因で生体情報を認証データとして登録できない「登録拒否」が発生しない周波数解析法を採用。これまでの生体（指紋）認証では、「登録拒否」が発生するために、ID / パスワードやICカードとの並行運用が必要だった。

認証情報の照合は、生体情報である指紋画像ではなく、指紋表面の凹凸断面を波形数値化した情報を利用するため、生体情報を取り扱う際のプライバシー問題にも配慮されている。

センサー自体に物理的な指紋が残らないので、不正な指紋採取や指紋を偽造される心配がない。

NTT 西日本 TEL : 06-4803-3690
NTT コムウェア TEL : 03-5463-5779

沖電気

トヨタテクノサービスが「eおとIPフォン」を採用した IP電話システムを導入

沖電気は、同社のIP多機能電話機「eおとIPフォン」を全面的に採用したIP電話システムをトヨタテクノサービスへ納入した。

トヨタテクノサービスは、車両・情報システムの技術開発を行う総合エンジニアリング企業であり、愛知県豊田市と静岡県に計6ヶ所の拠点を持っている。トヨタテクノサービスでは、現在、事業の急成長に伴う人員の増強を行っており、2005年4月に本社2号館を新設した。この2号館の開設にあたり、既に本社本館に導入している沖電気のIP-PBX「DISCOVERY01」を引き続き有効に活用することを前提に、社員に快適なオフィス環境を提供することを目標として、IP電話機の増設が検討された。その結果、内線の増設工事費が抑制できること、本館の電話機と同じ操作方法が実現できること、そして音声品質が高く聞き取りやすいことが評価され、eおとIPフォンを利用した企業内IPセントレックス方式での増設が決定された。

eおとIPフォンは、従来の電話では聞き取ることができない広帯域の音声によるコミュニケーションを実現したIP多機能電話機である。トヨタテクノサービスでは、eおとIPフォンを実際に試聴した結果、会話の理解度向上と疲労防止の効果があると判断し、2号館への導入を決定した。

2号館には、eおとIPフォンが450台設置され、光ケーブルを経由して本館のDISCOVERY01に接続されている。企業内IPセントレックスの採用によって端末台分のケーブルが不要となり、少ないネットワーク機器でのシステム導入が可能となった。また、万一DISCOVERY01との通信が不可能になった場合に備え、非常時に自律動作するサバイバル装置により、2号館での外線発信は確保されている。

IPシステムカンパニー 企画室 TEL : 03-5445-5706
E-mail : isc-promotion@oki.com

シスコシステムズ

ソフトバンク BB が IP 次世代ネットワークを導入して アドバンスド動画サービスの提供を全国規模に拡大

シスコシステムズは、ソフトバンク BB がブロードバンドによる番組放送やビデオ・オン・デマンド (VOD) といったアドバンスド IP 動画サービスの提供を全国規模に拡大するために、「Cisco Carrier Routing System (Cisco CRS-1)」および「Cisco Catalyst 6500 シリーズ」スイッチを中心としたシスコの IP 次世代ネットワーク (IP NGN) の導入を拡大することを発表した。なお全国規模での導入は、2005 年 10 月に完了する予定である。

ソフトバンク BB は、アドバンスド IP 動画サービスを提供するために、Cisco CRS-1 コアルーティングプラットフォームを配備している。柔軟な QoS サービスの提供を可能にする 40Gbps ASIC、ノンブロッキングのマルチキャスト転送機能などを兼ね備えた Cisco CRS-1 コアルーティングプラットフォームは、数千万のユーザーに IP 動画技術を活用した TV 放送や VOD を提供するという、ソフトバンク BB の需要を満たすことのできるコア・プラットフォームとなっている。また同じネットワークには、Cisco Catalyst 6500 シリーズ・スイッチおよび Cisco Catalyst 3750 も配備されており、完全ハードウェア化によるアドバンスド IP マルチキャスト機能、優れた拡張性、ユニキャスト / マルチキャストプロトコルの極めて迅速な融合を可能にし、これらの機能を全て活用してアドバンスド IP 動画サービスが提供されている。

シスコでは、サービスプロバイダーが IP 動画サービスを普及させる際に直面する主要な問題を解決できるようになるための取り組みを展開している。そして、シスコの IP NGN は、柔軟性や拡張性、セキュリティ、安定性をソフトバンク BB へ提供し、同社の展開するブロードバンドサービスの急成長を支えている。

シスココンタクトセンター TEL : 03-6670-2992
URL : <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

イーシステム

日興コーディアル証券が情報セキュリティを 強化するために情報漏洩対策ソリューションを導入

日興コーディアル証券は、イーシステムが提供するアナリティカル・情報セキュリティ・ソリューション「E-SYSTEM E-TRACKER」を全店 (約 130 拠点、約 8,000 クライアント) の PC 監視・情報漏洩防止ソリューションとして導入した。本事例は、国内で入手できる情報漏洩対策セキュリティソフトウェアとして高い評価を獲得しているハミングヘッズ社の「Security Platform」をコアとして開発された「E-SYSTEM E-TRACKER」の、国内初の大規模導入事例である。

企業が情報漏洩対策を進める場合、企業内の PC 操作に関する監視・禁止機能の強化が必要な課題になるが、監視・禁止機能の高度化は、操作履歴の急速な増加につながり、情報漏洩に対する迅速な対応や未然の防止を困難にするというジレンマを生じさせている。アナリティカル・情報セキュリティ・ソリューションの E-SYSTEM E-TRACKER は、CRM のリーディングカンパニーであるイーシステムが分析系 CRM で培ったデータ分析・活用ノウハウをベースに、企業における PC 操作履歴に関する超高速ログ分析を実現し、リアルタイムに近いかたちでの管理を行うことで、情報漏洩の未然防止、強固な情報セキュリティ環境の維持・改善を実現するものである。

日興コーディアル証券は、2005 年 4 月から全面施行された個人情報保護法を受け、社内システムやコンプライアンスの見直しをはじめ、さまざまな取り組みを行っている。その一環として、今回、ログ分析をベースに情報漏洩の未然防止を実現するというコンセプトを持つ E-SYSTEM E-TRACKER の導入を決めた。今後は、社内の情報漏洩対策の中で、同ソリューションを活用し、運用を実施していく予定である。

企画部 マーケティングセンター TEL : 03-5781-8778
E-mail : marketing@e-system.co.jp